

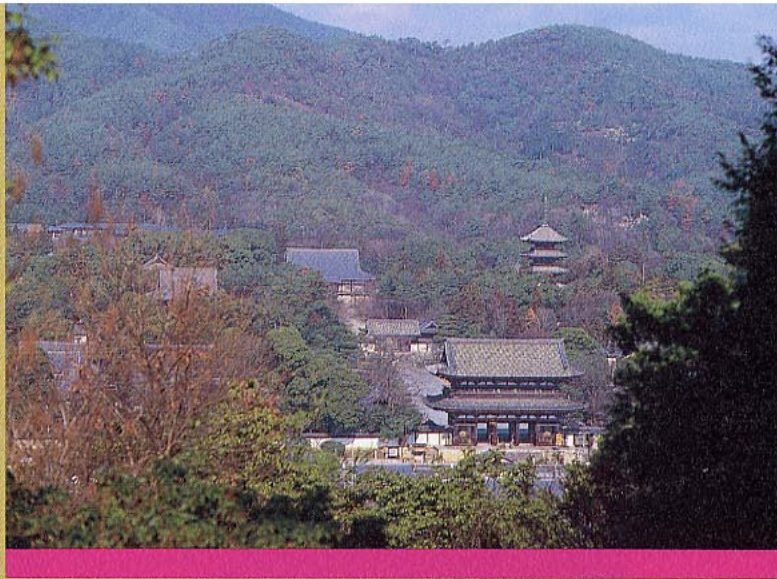
名勝
雙ヶ岡
 ならびが おか



京都市文化観光局



雙ヶ岡の周辺には、北に御室の桜や五重塔で知られる仁和寺、東に四十余の塔頭を持つ妙心寺、そして南東に平安時代の滝石組が残る法金剛院など史跡名勝も数多くあります。雙ヶ岡とあわせて、これらの史跡名勝を訪れてみてはいかがでしょうか。

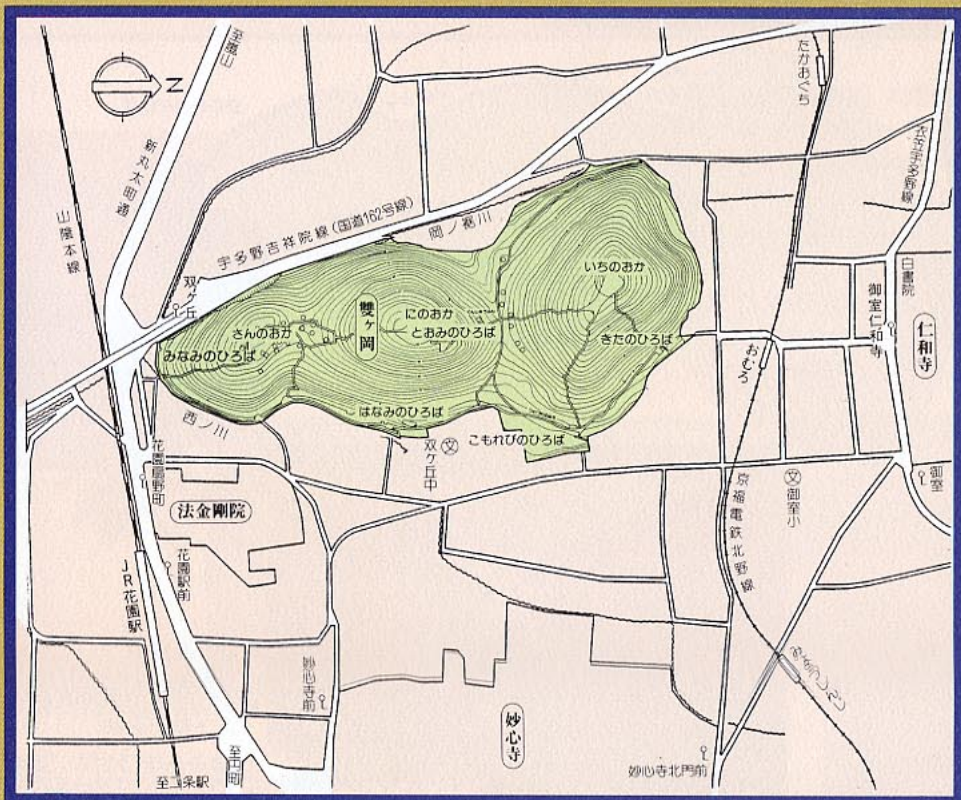


仁和寺

仁和寺は、仁和4年(888年)創建された年号寺院です。当初の寺域は雙ヶ岡、三の丘の南端あたりまで含む広大なものでした。“御室の桜”は古くから有名で、“雙ヶ岡の松”とあわせて民衆に親しまれてきました。

法金剛院

寺地は平安時代前期、右大臣清原夏野の雙ヶ丘山荘の跡と伝えられています。大治5年(1130年)待賢門院の御所がで、後に御願寺として御堂が建てられました。これらの建物は一つも残っていませんが、庭園の一部は今に伝わり、昭和43~45年に行われた発掘調査と環境整備事業により“青女の滝”が復元されました。平安時代後期の庭園遺跡として、京都でも数少ないものの一つです。



交通のご案内

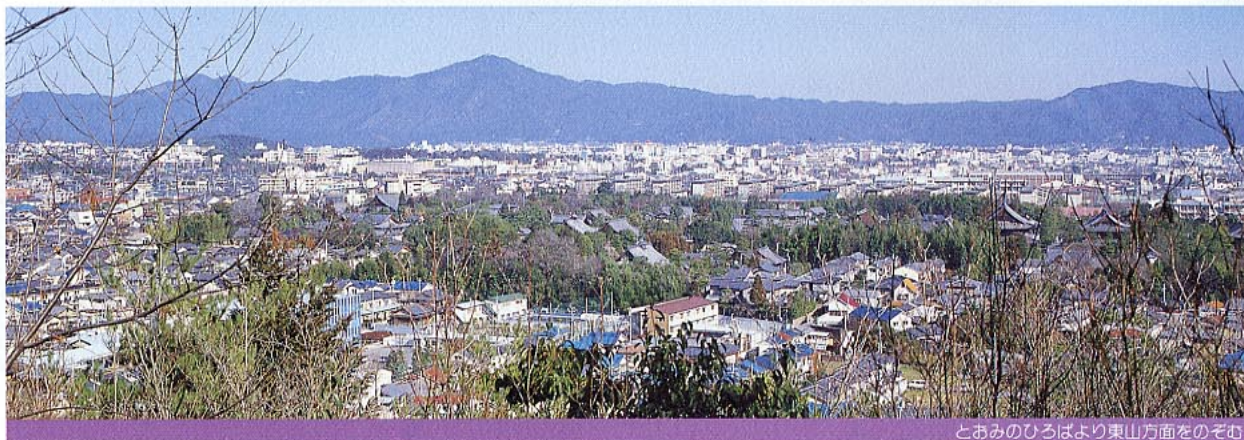
- 市バス……京都駅前から⑧双ヶ丘下車。
 ◎御室仁和寺下車。
 三条京阪前から⑧、⑨、⑩ 御室仁和寺下車。
 四条大宮から⑪花園扇野町下車。
- JR……花園駅下車。
 みなみのひろばへ徒歩約10分。
- 京福電鉄……北野線御室駅下車。
 うたのぐちへ徒歩約8分。
 きたのひろばへ徒歩6分。



★駐車場・駐輪場はありません。

名勝雙ヶ岡位置図

雙ヶ岡は京都盆地における卓越した展望地点として
昭和16年に国の名勝に指定されました。
このたび、京都市は全域で環境整備事業を行いました。
東麓には遊歩道「つれづれのみち」を整備し、
この道沿いに、桜などの花木を中心にした「はなみのひろば」、
疎林と芝生の「こもれびのひろば」の二つの広場を設けました。
また、山内にも散策路を巡らせ、市中心部から東山が一望のもとにおさめられる
「とおみのひろば」や、一の丘の古墳(1号墳)前の小広場には
ベンチや説明板を配しました。



とおみのひろばより東山方面をのぞむ

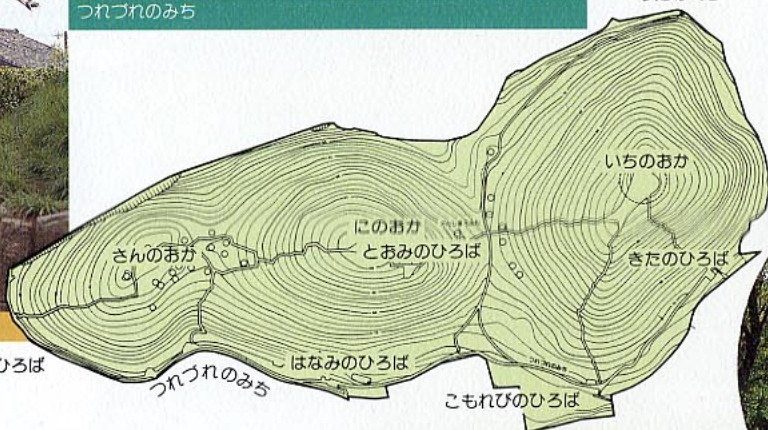
つれづれのみち
「つれづれのみち」は南の
法金剛院、北の仁和寺を結ぶ
歴史の道です。
ネーミングは「徒然草」から
とりました。



つれづれのみち



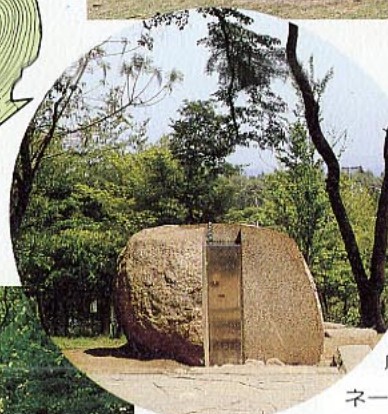
うたのぐち



みなみのひろば

つれづれのみち

こもれびのひろば



こもれびのひろば

一の丘南東麓に開けた台地状の広場
です。既存の樹林の一部を残し、芝
生を張りました。ベンチ、野外卓の
ほか水飲場を設け、「つれづれのみ
ち」をへだてた山側には便所を配
置しました。面積は約4,000㎡で、園
児・児童などの集団的利用もできる
広場としました。

ネーミングは、樹木の枝葉から洩れる日差
しのやわらかさのイメージです。

はなみのひろば

「つれづれのみち」沿いの二の丘
東麓に面積約2,000㎡の広場を設け
ています。主として芝生を張り、
ベンチ、野外卓等を設置しており
ます。休憩舎や説明板も設け、舗装、
石積に自然石(花崗岩)を用いて
広場としての風格を出しました。



はなみのひろば

既存のサクラを生かし、サツキや
ツツジなどの花木の植栽を行って、
それぞれの花期には、はなやかな
集いの場となることを意図しまし
た。ネーミングは、そうした集い
へのいざないです。



丘をめぐる緑あふれる小路